

日仏哲学会会報

第71号 2013年10月

このたび、2013年9月7日に、秋季大会と総会が東京大学において予定どおり無事に行われました。会員のみなさまのご協力に感謝いたします。

1) 理事選挙について

2013年7月に理事選挙が行われ開票の結果以下の方が選ばれ、9月7日の総会で承認されました。なお有権者数368名 総投票数52名 選出者の最多得票は35、最小得票は10でした。任期は3年間です。

安孫子信、上野修、香川知晶、加國尚志、金森修、久米博、河野哲也、小林道夫、米虫正巳、澤田直之、塩川徹也、杉村靖彦、杉山直樹、鈴木泉、谷川多佳子、中村弓子、檜垣立哉、村上靖彦、村松正隆、山田弘明

2) 役員選挙について

引き続き、8月10日の臨時理事会で役員選挙が行われ以下の方が選出され、9月7日の総会で承認されました。任期は3年間です。

会長：小林道夫
副会長：塩川徹也、山田弘明
事務局長：檜垣立哉
編集委員長：米虫正巳
副編集委員長：村上靖彦
編集委員：中村弓子、杉村靖彦、村松正隆、加國尚志、上野修、谷川多佳子

3) 上記結果に伴う、事務局および編集委員長宛て連絡の変更

上記結果を受け2013年9月より上記連絡先が変更されております。

事務局
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-2 大阪大学人間科学研究科 檜垣研究室内
e-mail: sfjp-jim@hus.osaka-u.ac.jp

編集委員会
〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町 1-155 関西学院大学文学部
哲学倫理学専修 米虫研究室内
e-mail: z97012@kwansei.ac.jp
※ 連絡は基本的に e-mail でお願いいたします。

4) 昨年度決算および来年度予算について (資料から)

下記 (別紙資料①) のように、昨年度の決算と来年度の予算が総会で承認されました。

5) 来年度の事業予定について (資料から)

下記 (別紙資料②) のように、来年度の事業予定が総会で承認されました。なおすでにおこなわれた事業にかんしましては日仏哲学会 HP の方をごらんください。

6) 機関誌への投稿

機関誌『フランス思想・哲学研究』次号に公募論文を応募されるかたは本年12月31日までに 上記編集委員長の e-mail アドレスに PDF ファイルで完成原稿を送りください。

(以下参考。※ 投稿規定は HP からご覧いただけます。)

『フランス哲学・思想研究』公募論文投稿規定

1. テーマ: フランス哲学・思想に関するもの、日仏両哲学界の交流に寄与するもの
2. 応募資格: 日仏哲学会会員
3. 原稿の形式: ワープロによる完全原稿の PDF。和文・仏文を問わず、1行全角43字(半角86字)の設定で横書き、タイトル、著者名、注も含めて300行以内。注はワープロソフトの脚注機能は使用せず、本文の該当箇所に通し番号1)、2)、……をつけ、本文の後に置くこと。和文・仏文いずれの場合も仏語レジュメ(上記設定でタイトルと著者名も含め12行以内)を本文とは別のページに付すこと。応募者の連絡先(住所、電話番号、E-mail アドレスを含む)を明記した別紙ファイルの PDF を添付すること。
4. 原稿作成上の注意: 欧文のハイフンは本来のものだけとし、改行時には入れないこと。また仏語レジュメは、ネイティブ・チェックを受けるなど、著者が責任をもって点検を済ませておくこと。
5. 原稿締め切り: 2013年12月末日、件名を「フランス哲学思想研究公募論文」としたメールに原稿等のファイル(本文・仏語レジュメ・応募者連絡先)の PDF を添付し、編集委員長宛に送付すること。
6. 原稿送付先: 編集委員会委員長宛。
(編集委員長): 米虫正巳
〒662-8501
西宮市上ヶ原一番町1-155
関西学院大学文学部哲学倫理学専修研究室
メールアドレス: z97012@kwansci.ac.jp
7. 審査: 掲載の可否は編集委員会で決定する。掲載決定の場合、応募者は原稿の電子ファイル(Microsoft Word バージョン2000以上を推奨。それ以外の場合は、使用したソフトウェア名を明記し、テキスト形式で保存)を電子メール(添付ファイル)で送付すること。

7) 一般研究発表への応募

来年度春の研究大会に発表をご希望のかたは本年11月末までに、上記事務局の e-mail アドレスに PDF ファイルでお送りください。 追って可否を連絡いたします。

(以下参考。※ 応募要領は HP からご覧いただけます。)

2014年春季大会一般研究発表応募要領

2014年春季大会は3月29日(土)に京都大学(吉田キャンパス)で開催されます。一般研究発表を公募いたします。発表時間は25分(15分の質疑応答付き)です。発表ご希望の方は、1500字程度の日本語発表要旨を11月末日までに、メールに添付して事務局までお送り下さい。なおそのとき、「応募メールを送った」旨を伝える簡単な確認メールも別途同時にお送りください。採否は11月末日までに決定いたします。

なお発表要旨を当該年度の機関誌に掲載しますので、発表後に改めて1200字以内(タイトル、発表者名、改行に伴う空白を含む。仕上がり1ページ以内)の要旨を機関誌編集委員長宛てに、電子ファイルでお送りください。締め切り及び送付先は、公募論文応募規定をご覧ください。

8) 日仏哲学会 HP の更新について

日仏哲学会の HP が以下のアドレスに変更されました。
sfjp-web.net

9) 事務局より

先般に行われた理事会での話し合いにより、現在以下のことを検討しております。

- 日仏哲学会若手奨励賞の創設
 - 大会でのフランス語による発表枠の常設
 - 過去の機関誌に掲載されたシンポジウム論文および公募論文の電子化と HP への掲載
- 上記のことについては積極的に進めて行く所存ですので、追って HP および次号会報で詳細を連絡いたします。
- また上記の検討の結果
- 論文投稿時の年齢確認
 - フランス語の発表のためのレジュメの形式
- が、5) 機関紙への投稿 6) 一般研究発表への応募に加わる可能性があります、追ってHP で告知するとともに、今年度にかんしましては柔軟に対応いたします。

10) 新入会員・退会者

新入会員

横田仁、沖本龍哉、橘英希、戸澤幸作、山岡利矢子、赤阪辰太郎、長門裕介、峰尾公也、鈴木順子

退会者

新海太郎

★ 会費納入のお願い

機関誌の最近の質量両面での充実は学会にとって大変喜ばしいことです。ただ、学会予算の過半をその発行費が占めていることの結果として、財政的にはこの充実は学会に重荷になりつつあります。つきましては、会員の皆様には遅滞なく年会費（4000 円）を納入していただきたく、お願い申し上げます。会費は秋季大会会場で直接お支払いいただけます。大会欠席の方には、機関誌発送時に同封でお送りします振替用紙をご利用ください。また、以下にあります学会振替口座には常時、お振込みいただくことができます。会費納入へのご理解を改めてよろしくお願い致します。（なお3年間の会費滞納が確認された方には「機関誌」の、また5年間の滞納が確認された方には「会報」の、それぞれ発送を停止させていただいています。）

★ 「会報」の電子媒体での送付についてのお願い

ご了承の下ですでに多数の方に「会報」をメール添付でお送りしていますが、まだお申し出いただいていない方で、「会報」をメール添付で受け取ることで構わないという方がおられれば、下記事務局までご一報下さい。

【日仏哲学会事務局】

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-2 大阪大学人間科学研究科 檜垣研究室内

e-mail: sfjp-jim@hus.osaka-u.ac.jp

郵便振替口座記号番号：00120-6-194046 / 加入者名：日仏哲学会

(資料①) 日仏哲学会 2012 年度決算・2013 年度予算

1) 2012 年度 (2012 年 9 月 1 日～2013 年度 8 月 31 日) 決算

2012 年度予算		2012 年度決算	
収入		収入	
会員会費	1,000,000	会員会費	1,215,000
雑収入	30,000	雑収入	46,000 (注1)
(単年度収入	1,030,000)	(単年度収入	1,261,000)
<u>前年度繰越金</u>	<u>1,796,485</u>	<u>前年度繰越金</u>	<u>1,796,485</u>
計)	2,826,485円	計)	3,057,485円
		(注1) 雑収入内訳	
		機関誌売上	1,000円
		著作権料	45,000円
支出		支出	
大会費	220,000	大会費	201,047 (注2)
事務局費	180,000	事務局費	178,949
通信費・送料	80,000	通信費・送料	109,610
機関誌刊行費	700,000	機関誌刊行費	709,420
(単年度支出	1,180,000)	(単年度支出	1,199,026)
<u>次年度繰越金</u>	<u>1,646,485</u>	<u>次年度繰越金</u>	<u>1,858,459 (注3)</u>
計)	2,826,485円	計)	3,057,485円
			61,974円の黒字決算
		(注2) ASPLF 中間大会講演者招聘費を含む	
		(注3) 繰越金内訳	
		振替貯金	1,837,849円
		現金	20,610円

2) 2013 年度 (2013 年 9 月 1 日～2014 年 8 月 31 日) 予算

収入	
会員会費	1,020,000
雑収入	30,000
(単年度収入	1,050,000)
<u>前年度繰越金</u>	<u>1,858,459</u>
計)	2,908,459円
支出	
大会費	70,000
事務局費	200,000
通信費・送料	80,000
機関誌刊行費	700,000
(単年度支出	1,050,000)
<u>次年度繰越金</u>	<u>1,858,459</u>
計)	2,908,459円

(資料②) 日仏哲学会 2012 年度事業報告・2013 年度事業計画

1) 2012 年度事業報告

①2012 年 9 月 8 日 秋季研究大会 (東京大学)

一般研究発表：11 名

総会

シンポジウム：<ディオドロ哲学再考—生誕 300 年を迎えて>

(司会) 山口裕之, (発表) 大橋完太郎, 逸見龍生, 青山昌文

②2013 年 3 月 30 日 春季研究大会兼 ASPLF 中間大会 (京都大学)

一般研究発表：日本語によるもの 12 名, 仏語によるもの 12 名, 計 24 名

シンポジウム：<ミシェル・アンリと文化の現象学> (仏語で行われた)

(司会) 関村誠, (発表) ニコラ・モンスー, 中敬夫, ジャン・ルクレール, 川瀬雅也

※ASPLF: Association des Sociétés de Philosophie de Langue Française

③2013 年 7-8 月 理事改選選挙の実施

④2012 年 9 月 機関誌 17 号発行

2) 2013 年度事業計画

①2013 年 9 月 7 日 秋季研究大会 (東京大学) (←大盛況のうち終了いたしました。)

一般研究発表：10 名

総会

シンポジウム：<マルブランシュの思想>

(司会) 鈴木泉, (発表) 森元庸介, 木田直人, 加國尚志

②2014 年 3 月 29 日 春季研究大会 (京都大学)

一般研究発表

シンポジウム：<動物の哲学>

(司会) 金森修, (発表) 清水高志, 檜垣立哉, 金森 修

③2013 年 9 月 機関誌 18 号発行

3) 以降の予定

①2014 年 9 月 秋季研究大会 (東京大学 (予定))

一般研究発表

総会

シンポジウム：<モナドロロジーの哲学>

(司会) 米虫正巳, (発表) 池田真治, 田口茂, 中倉智徳